

グラフで見る東海経済 (2020年9月)

2020年9月25日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ~新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる

【今月のポイント】

- 新型コロナウイルス感染症の影響で、足下の指標は総じて厳しい水準にあるが、持ち直しの動きがみられる。
- 生産は輸送機械が前月比で大幅増となり、鉱工業全体でも大幅に増加。先行きは、自動車生産の回復とともに持ち直しが見込まれる。
- 輸出は名目（前年比）の減少幅が縮小し、実質（前月比）は大幅に増加。
- 個人消費では、巣ごもり消費でスーパー、ドラッグストア、家電の増加が続く。小売販売全体でも3ヶ月連続で前年比で増加。
- 倒産件数は横ばい圏で推移。

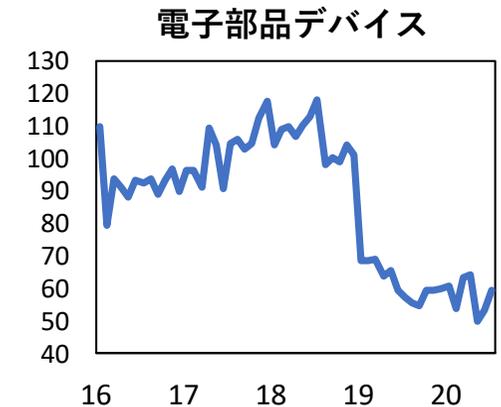
項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で厳しい状況にあるが、持ち直しの動きがみられる(↑)
生産	持ち直しの動きがみられる
輸出	持ち直しの動きがみられる(↑)
設備投資	弱含んでいる
雇用	弱い動きとなっている
賃金	弱含んでいる
個人消費	持ち直している(↑)
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	横ばい圏で推移している

(注)景気全般は、持ち直しの動きが広がってきたことから上方修正

生産

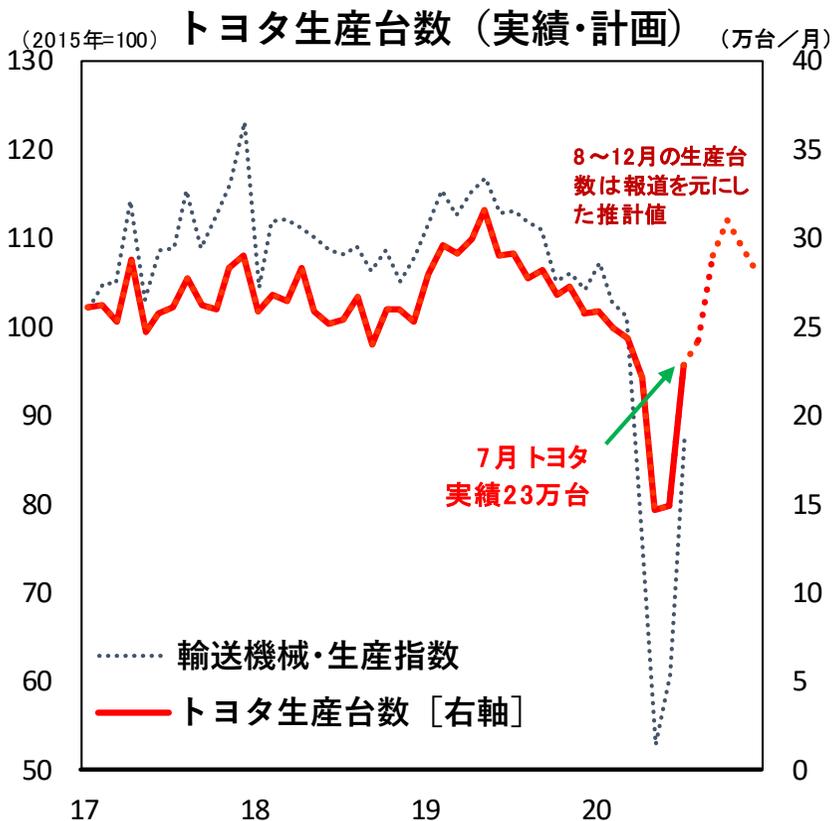
7月の鉱工業生産(東海)は前月比+23.1%の大幅増加となった。

ウェイトの5割を占める輸送機械が同+44.6%と急回復したほか、電子部品デバイス、電気機械なども増加した。

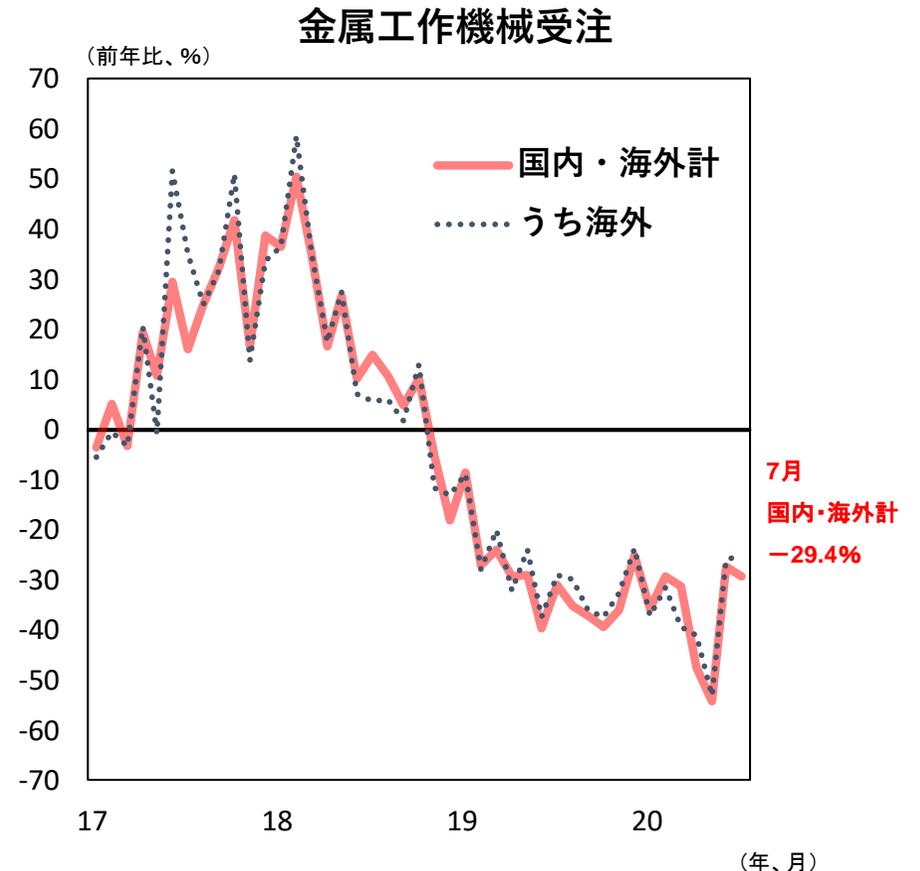


生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

7月のトヨタ生産台数(弊社季節調整値)は23万台と前月から増加した。先行きは回復が見込まれている。7月の金属工作機械受注は、前年比-29.4%と大幅減が続いている。国内向け、海外向けとも大幅減。海外向けでは、中国向けが同+85.4%と大幅増となる一方、欧米向けは大幅減が続いている。



(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
 (出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」、鉄鋼新聞

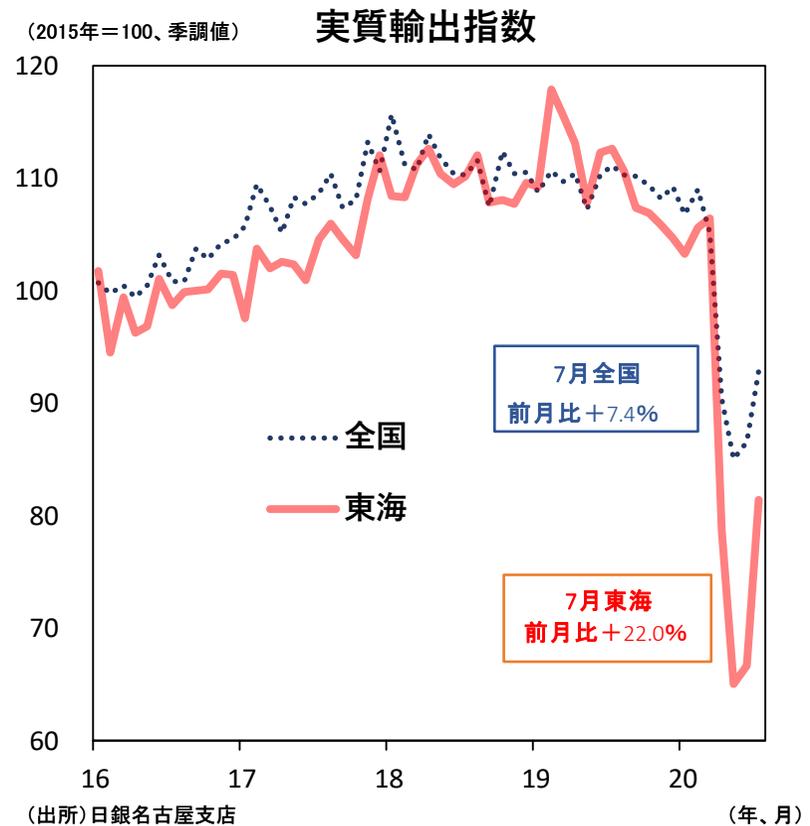
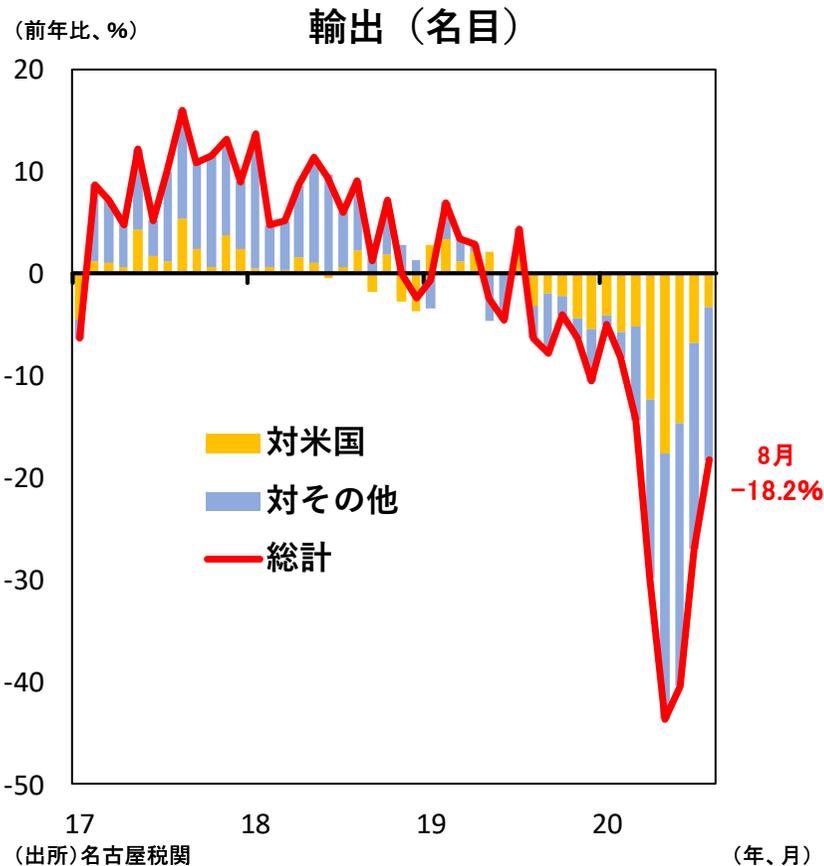


(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

輸出

8月の名目輸出額は前年比-18.2%と大幅減が続くが、減少幅は縮小傾向となっている。米国、EU、アジア向けが減少となる中、中国向けが4ヶ月連続で増加(同+3.1%)した。業種別では、自動車(同一19.8%)の減少が続くが、マイナス幅は縮小した。

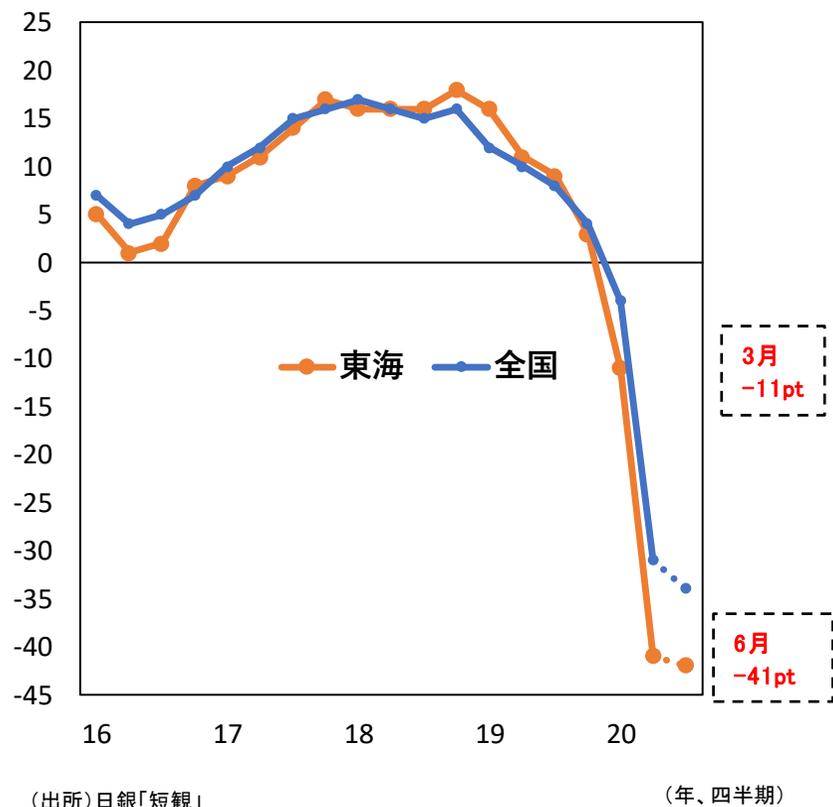
7月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+22%と大幅増となった。



企業景況感(日銀短観) ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

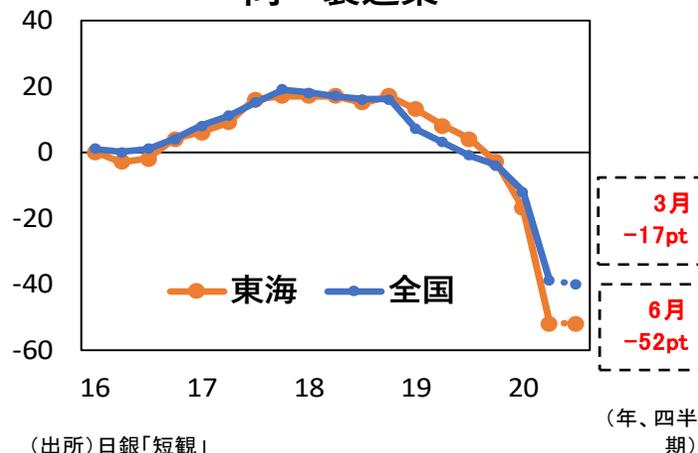
日銀短観6月の業況判断DIは全産業で-41ptと大幅に悪化。製造業は-52pt、非製造業は-29pt。先行き(9月)、製造業は横ばいにとどまるが、非製造業ではもう一段の悪化が見込まれている。

短観 業況判断DI「全産業」

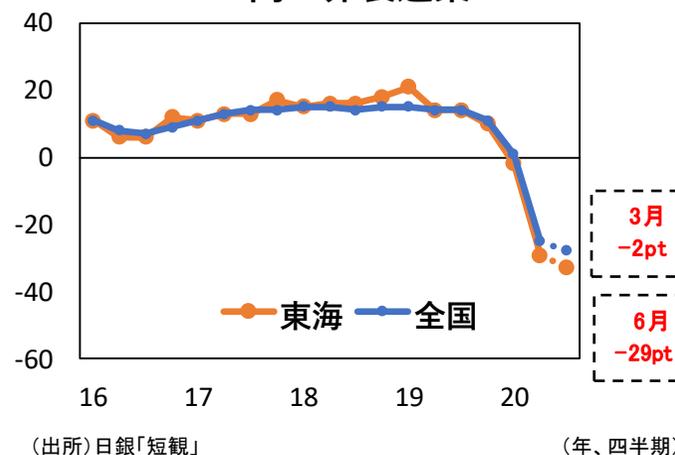


(注)足元の点線はいずれも先行きの見通し

同 製造業

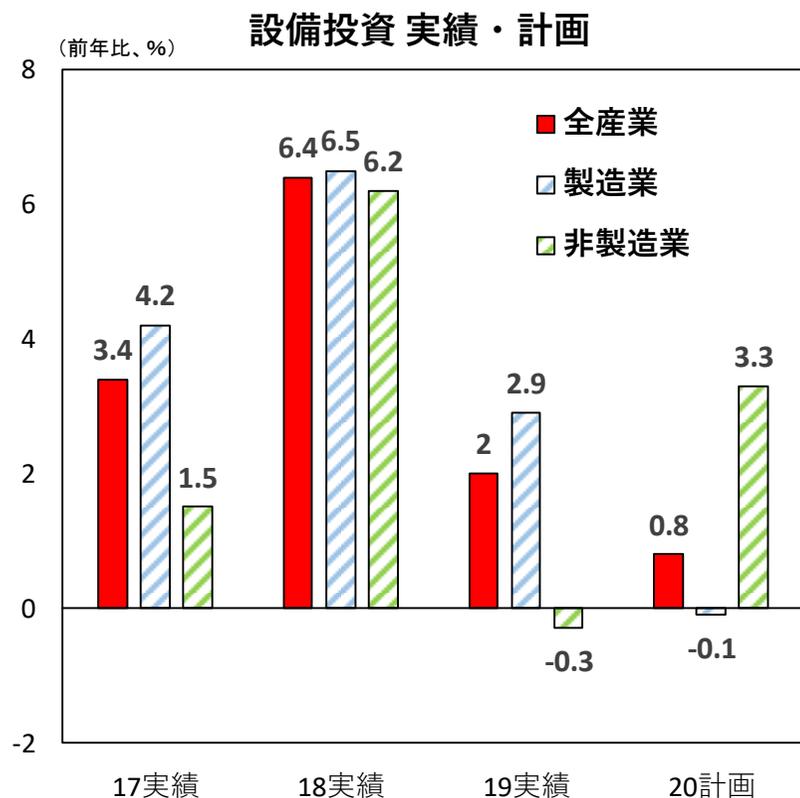


同 非製造業



設備投資 ※以下は7/1公表の6月調査。9月調査は10/1公表予定

日銀短観6月調査によると、20年度の設備投資計画は、非製造業が前年比+3.3%と増加を見込む一方、製造業は同-0.1%と低調、全産業では同+0.8%と小幅増加にとどまる計画となっている。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

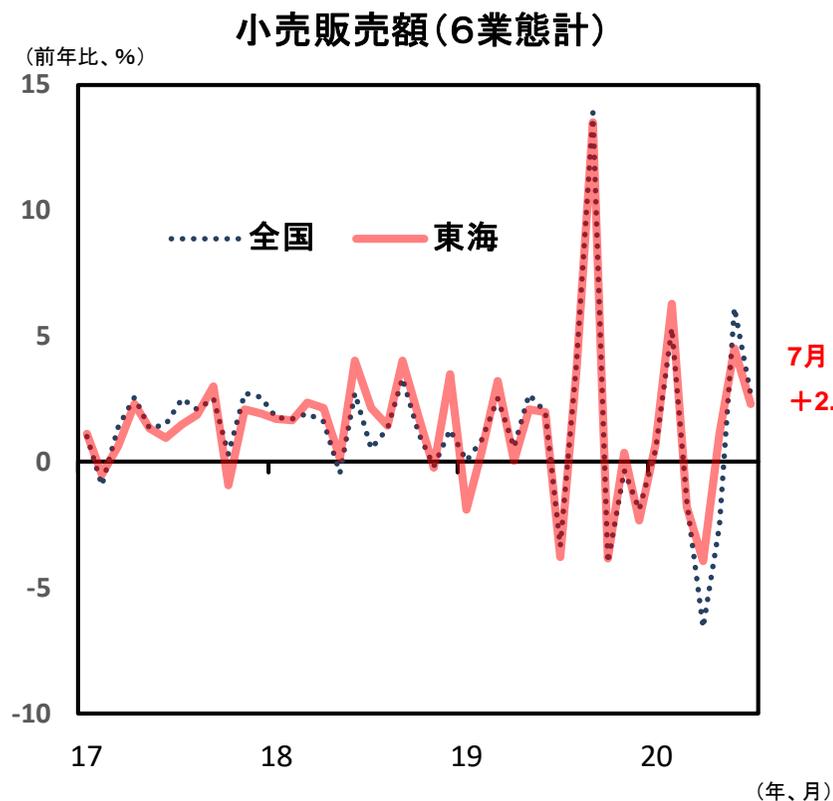
設備投資額 (前年比%)

	19年度 実績	20年度 計画	
		今回	3月調査時 [差異]
全産業	2.0	0.8	-0.4 1.2
製造業	2.9	-0.1	-0.5 0.4
非製造業	-0.3	3.3	-0.4 3.7

個人消費(小売売上、自動車販売)

7月の小売販売額は前年比+2.3%と3カ月連続で増加したが、伸び率は鈍化。巣ごもり消費でスーパーなどが増加する一方、コロナ感染再拡大による外出自粛で百貨店、コンビニが減少。

8月の新車販売は前年比-16.3%。減少幅は前月とほぼ同水準。



(出所)商業販売動態統計

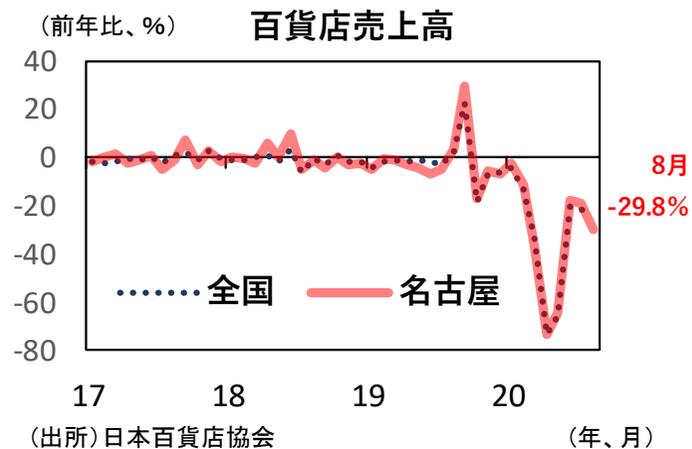
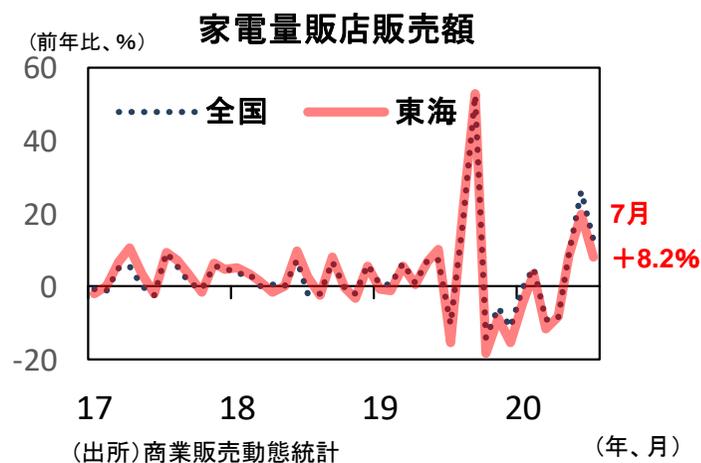
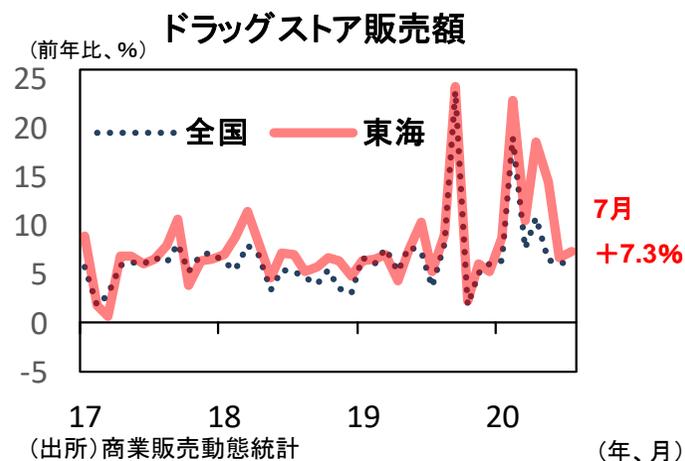
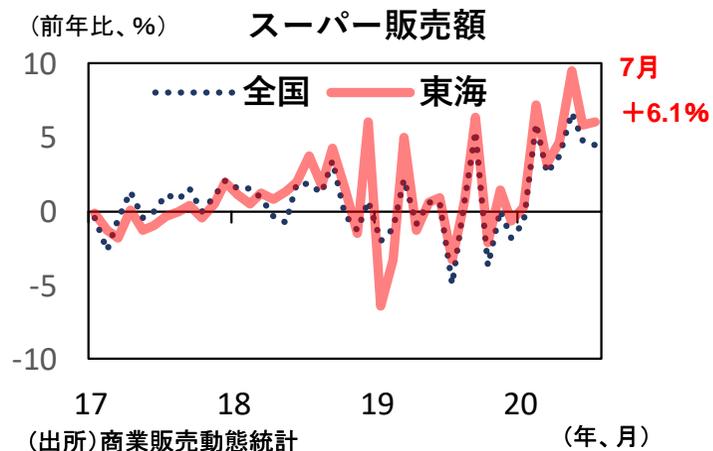
(注)百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計



(出所)全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

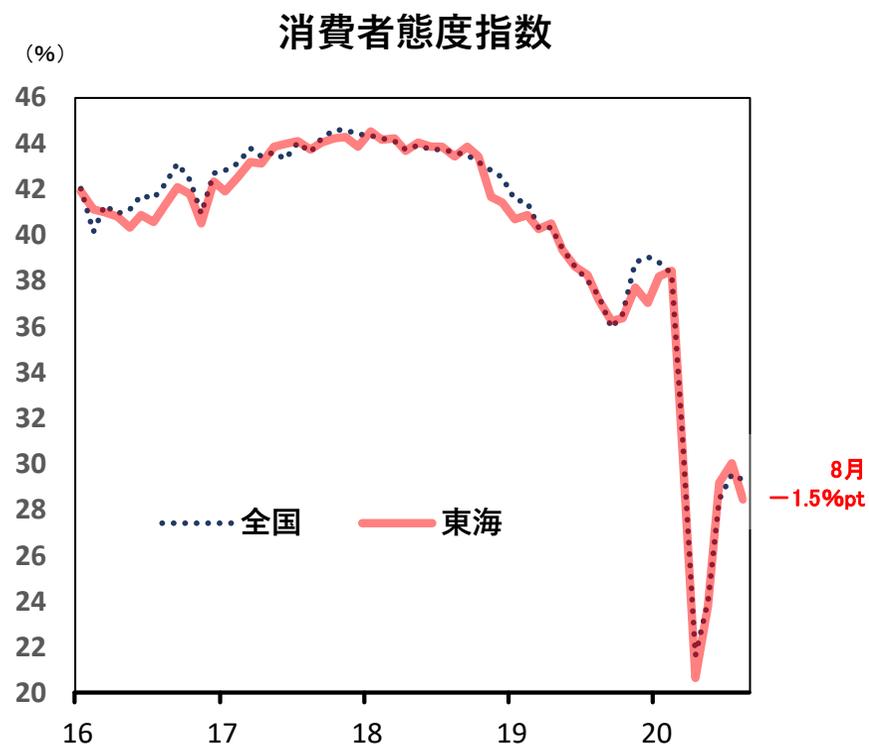
個人消費(業態別)

7月も巣ごもり消費等により、スーパー、ドラッグストア、家電、ホームセンターで前年比での増加が続く。8月の百貨店販売は前年比-29.8%と減少幅が前月から拡大した。

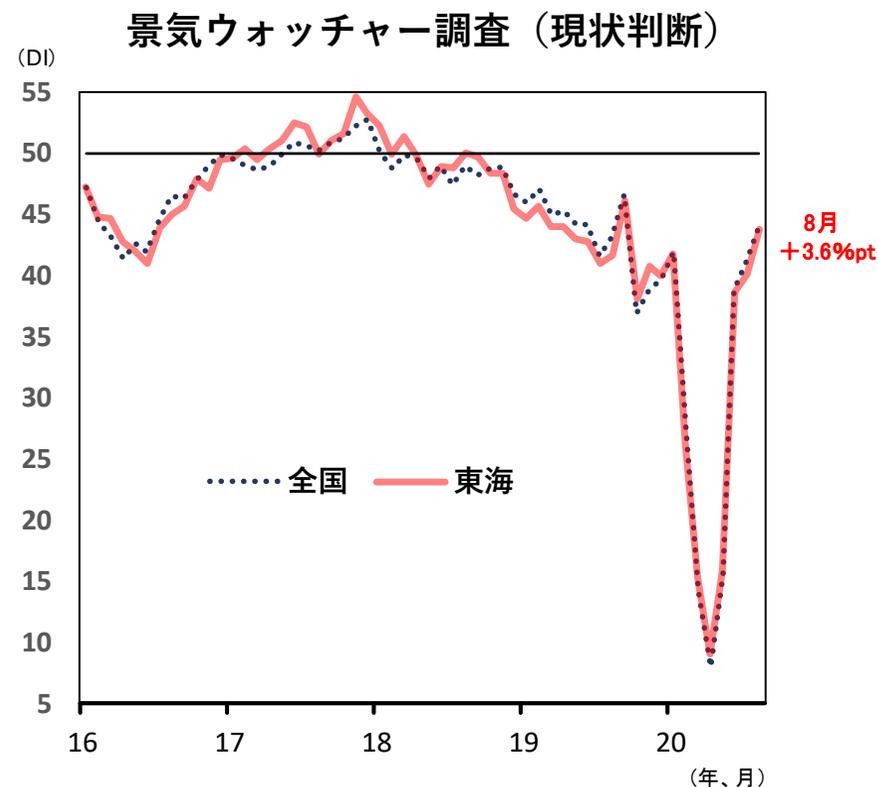


マインド・景況感

8月の消費者態度指数は28.4(前月差-1.5%pt)と、緊急事態宣言解除後の改善基調が一服した。8月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は43.7(前月差+3.6%pt)と、引き続き50を下回っているものの持ち直しの動きがみられる。7月に比べコロナ感染拡大の動きが落ち着いてきたことから、先行きDIも上昇幅が高まったが、しばらく厳しい状態が続くとの見方も多い。



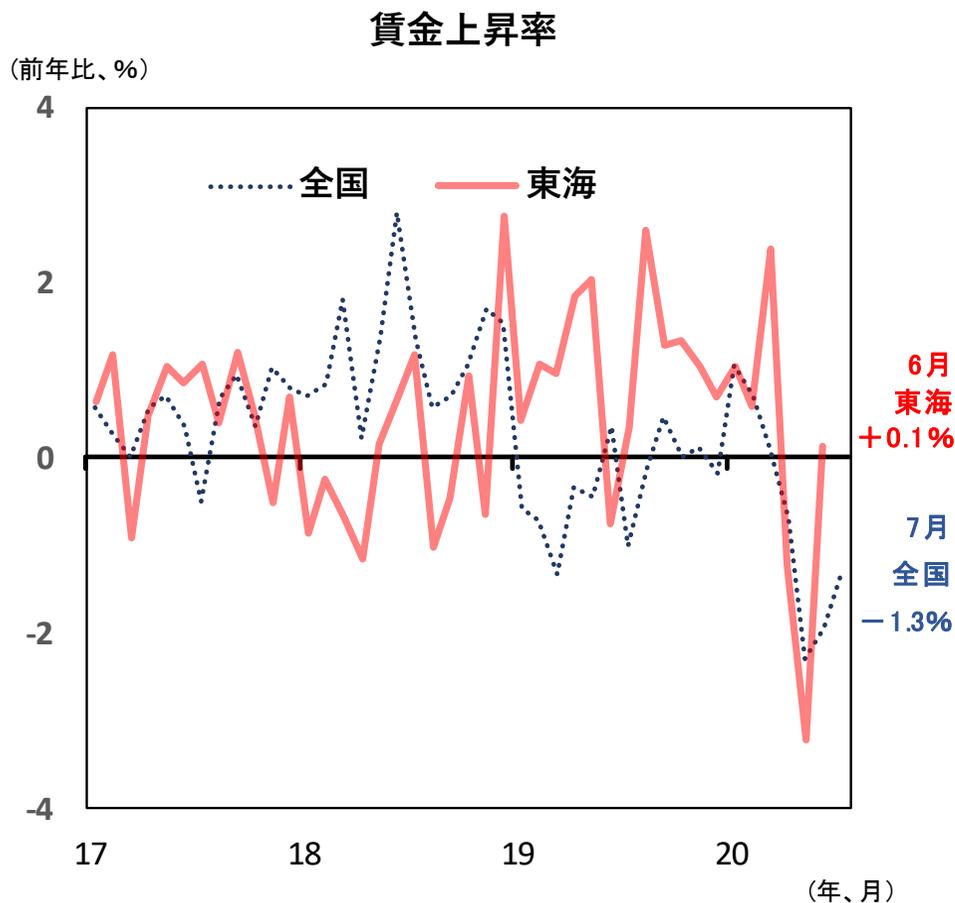
(注) 今後半年間の見通し：当社試算季節調整値 (年、月)
(出所) 内閣府「消費動向調査」



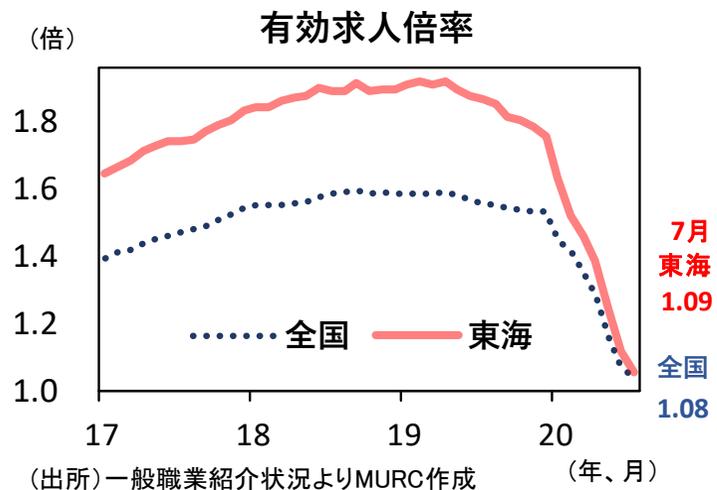
(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

賃金・雇用

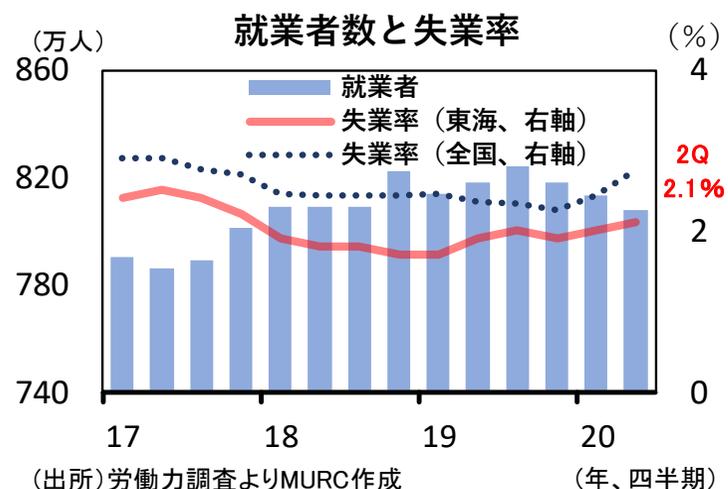
6月の名目賃金指数は、前年比+0.1%と3ヶ月ぶりに増加した。ウェイトの大きい愛知の減少幅が縮小し、岐阜、三重は増加した。7月の求人倍率は1倍超えながら低下基調。20年第2四半期の失業率は2.1%と小幅上昇。就業者数も減少した。



(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成



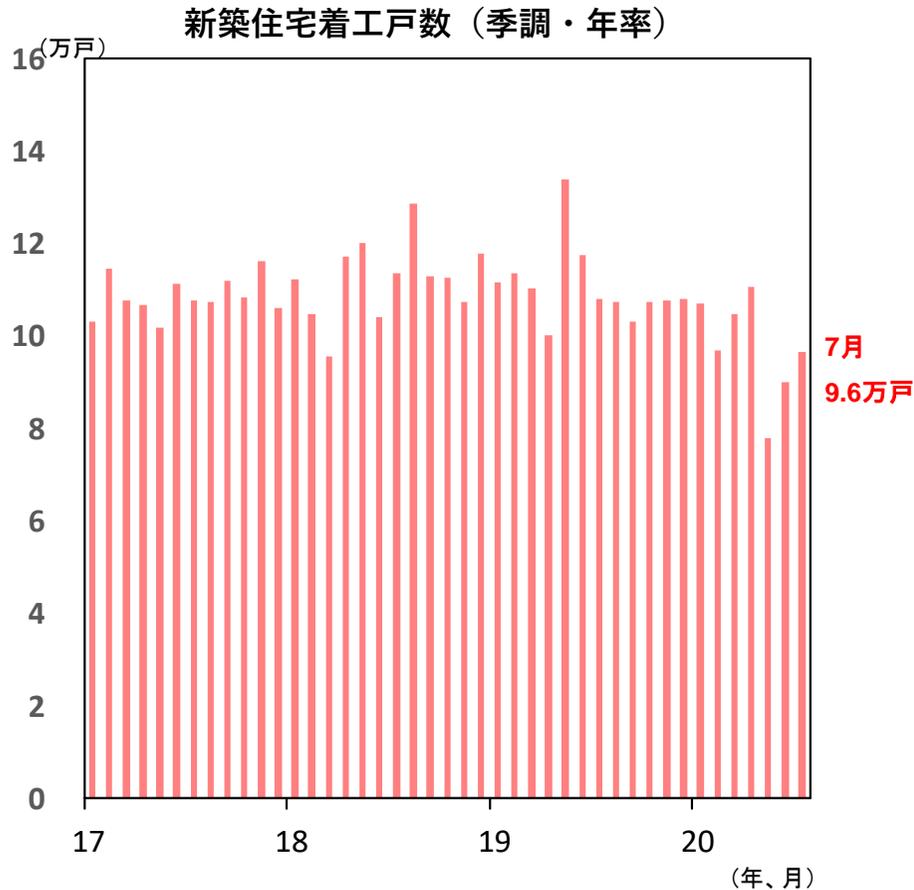
(出所) 一般職業紹介状況よりMURC作成



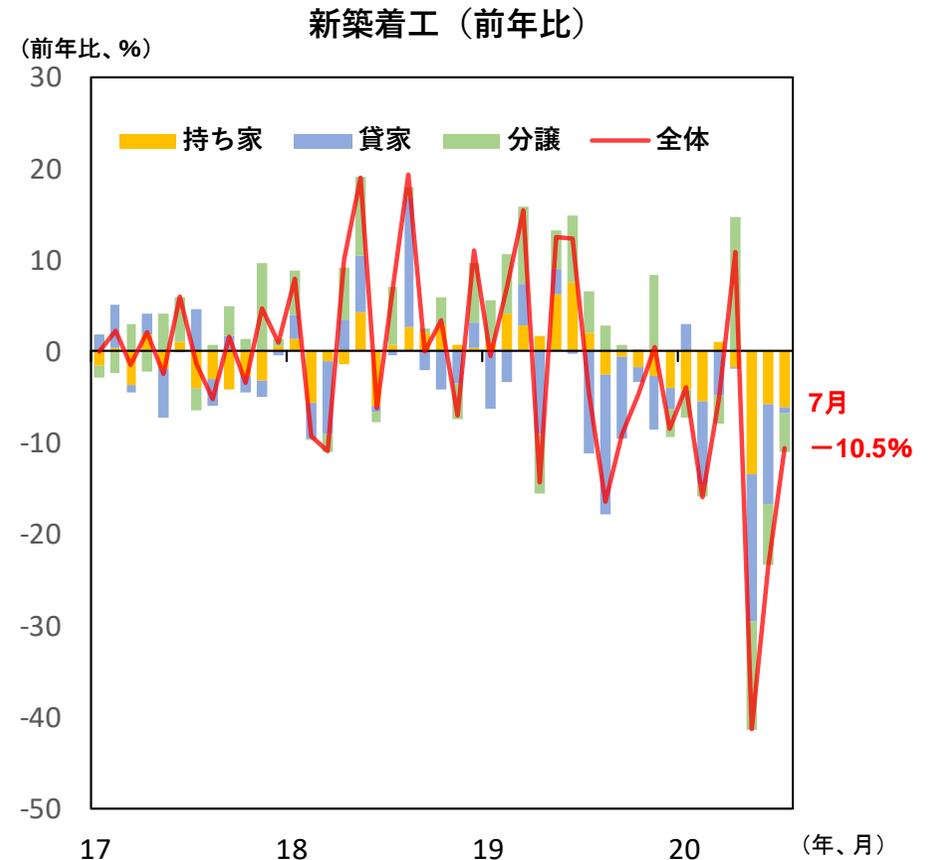
(出所) 労働力調査よりMURC作成

住宅投資

住宅着工は均してみると弱含み。7月は季調・年率で9.6万戸と小幅増加したが、原数値では前年比-10.5%と減少した。持家、貸家、分譲、いずれも減少が続く。



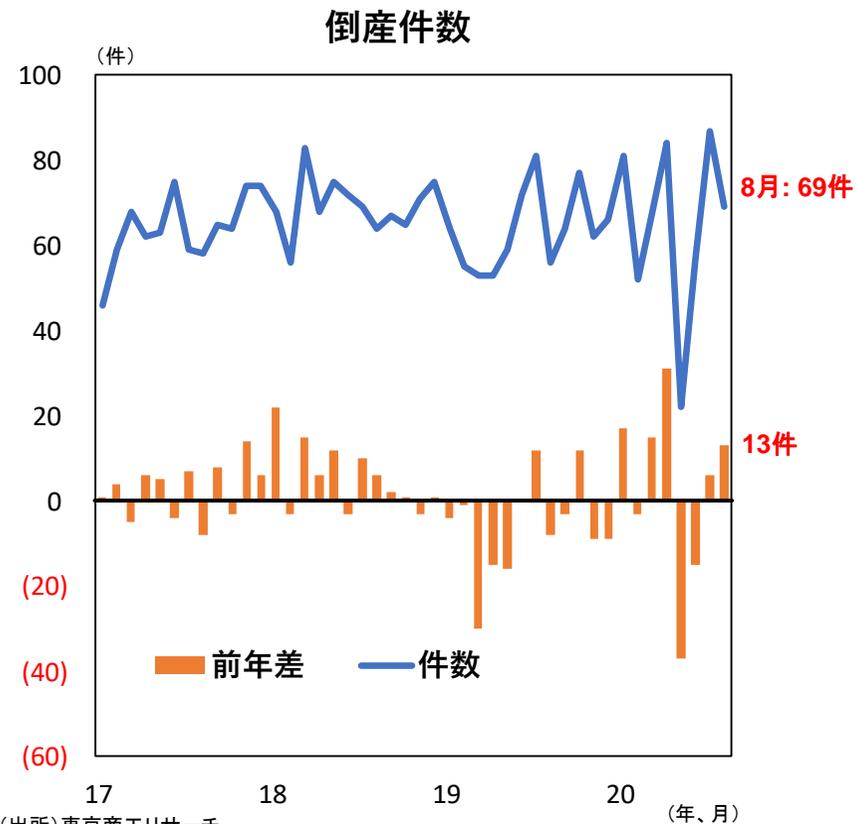
(出所) 建築着工統計よりMURC作成



(注) 愛知、三重、岐阜、静岡の合計(出所)「建築着工統計」

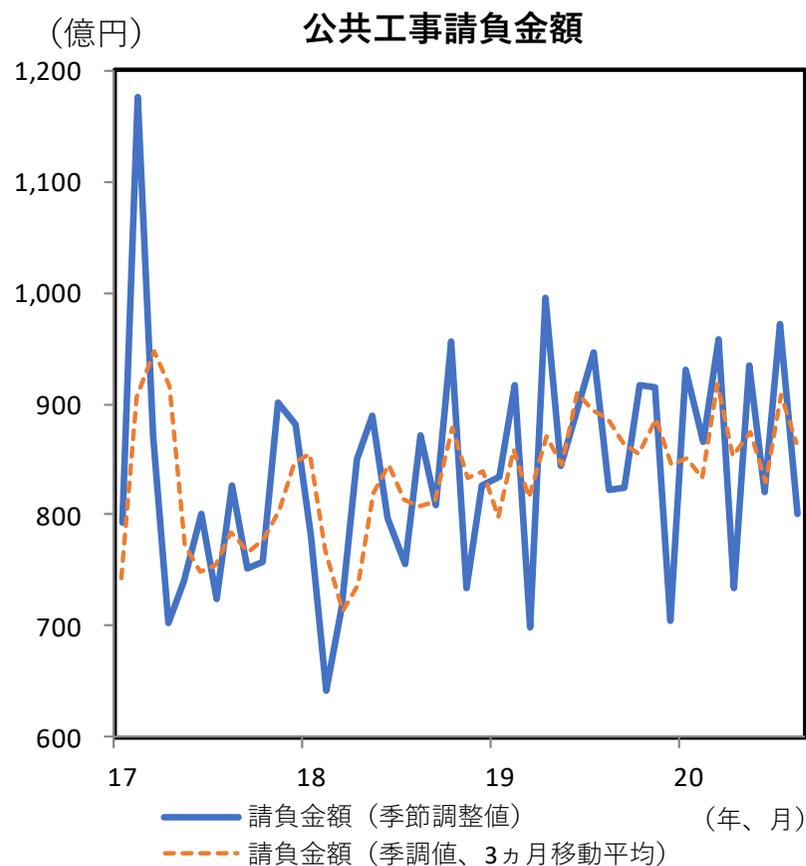
倒産

8月の倒産件数は前年比で増加。倒産件数の増加は2か月連続。件数の水準は、例年並み。



公共投資

公共投資は横ばい圏で推移している。



(注) 季調値はMURC試算

(出所) 東日本建設業保証「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください